

公益財団法人 東日本鉄道文化財団 鉄道博物館  
国立大学法人 東京大学

## 鉄道博物館と東京大学がデジタル レールウェイ ミュージアムを開催

公益財団法人 東日本鉄道文化財団 鉄道博物館（館長：関根 徹、以下、鉄道博物館）と、国立大学法人 東京大学（総長：濱田 純一、以下、東京大学）の大学院情報理工学系研究科（研究科長：萩谷 昌己、以下、情報理工）は、鉄道博物館の特別企画展「時間旅行展」の開催に合わせ、共同研究の成果による、新たな展示手法を提供する「デジタル レールウェイ ミュージアム」を開催いたします。

これまで東京大学情報理工が推進してきた博物館で活用すべき新しいデジタル技術の開発に鉄道博物館は共同研究者として参画してまいりました。「デジタル レールウェイ ミュージアム」は、本共同研究の成果を公開するものです。鉄道博物館と東京大学情報理工は、今後も、新しいデジタル技術の開発に貢献し、成果発表していく予定です。

### 1. 展示内容

#### 電車の思い出のぞき窓

携帯端末を展示車両に向けると、展示車両に重なって現役当時の車両の姿が見えてきます。

#### デジタル展示ケース～台車でGO！～

液晶ディスプレイで作った展示ケースの中に現われた電車の台車を、走らせたり透明化したりして、さまざまな角度から観察できます。

#### 時をかけるシート

電車のシートに腰掛けると、数十秒前の過去の自分と現在の自分が共存する3D空間が目の前に出現します。

#### ナビログ

携帯端末に入っているアプリを使って、ヒストリーゾーンの展示車両を巡るガイドシステムです。

#### デジタル「思い出ノート」

無人駅などに置かれている「思い出ノート」をデジタル技術で再現。来場者の思い出を博物館に残すことができます。

#### Post-Visit HAYABUSA Board

時間旅行展のはやぶさボードをデジタルアーカイブし、インターネット上で公開します。来場者自身が書き込んだはやぶさボードのメッセージを、館内施設、外出先や自宅からご覧いただきながら、会話の話題にすることができます。

<http://www.xlab.sfc.keio.ac.jp/hayabusa2011/>

2. 会場

埼玉県さいたま市大宮区大成町3丁目47番  
鉄道博物館 ヒストリーゾーン 1F、コレクションゾーン 2F など

3. 会場へのアクセス

JR大宮駅よりニューシャトル「鉄道博物館(大成)駅」下車、徒歩1分  
鉄道博物館へのアクセスの詳細は、以下にてご確認ください。  
<http://www.railway-museum.jp/access/index.html>

4. 開催日時

展示は11月9日(水)より開始します。  
各展示の公開日程・時間および館内公開場所の詳細は、  
別紙( [http://www.mr-museum.org/press/20111108\\_appendix.pdf](http://www.mr-museum.org/press/20111108_appendix.pdf) )をご参照ください。  
また、鉄道博物館 開館時間の詳細は、以下にてご確認ください。  
<http://www.railway-museum.jp/information/index.html>

5. 料金

鉄道博物館の入館料のみ。  
鉄道博物館の入館については、以下にてご確認ください。  
<http://www.railway-museum.jp/information/index.html>

## デジタル レールウェイ ミュージアム 展示概要

協力：独立行政法人 情報通信研究機構、慶應義塾大学、株式会社 NHK エンタープライズ

### 電車の思い出のぞき窓

窓枠に似た携帯端末を展示車両にかざすと、画面上に車両が活躍していた時の姿が映し出されます。また、車両の進行方向に携帯端末を動かすと、画面上で車両の映像が走り出します。

展示場所：ヒストリーゾーン 1F クモハ 101 形式電車、C57 形式蒸気機関車

展示期間：11月9日(水)～11月14日(月)、12月14日(水)～12月19日(月)

展示時間：10時～18時

映像提供：NHK

その他：携帯端末を展示車両付近に備え付けいたしますので、ご自由にご覧ください。

クモハ 101 形式電車付近 4箇所、C57 形式蒸気機関車付近 1箇所。

展示イメージ（実際の展示とは異なります）



携帯端末のモニタに映った展示車両が、現役時代の姿にうつり変わっていきます。

### デジタル展示ケース～台車でGO！～

デジタル展示ケースの中に、3DのCGで再現された鉄道車両の台車を映し出します。台車を好きな角度から鑑賞可能で、一部を透明に切替えれば実物展示では見られない台車の動く機構や構造を理解することもできます。また、ハンドル操作により台車を走らせることができます。

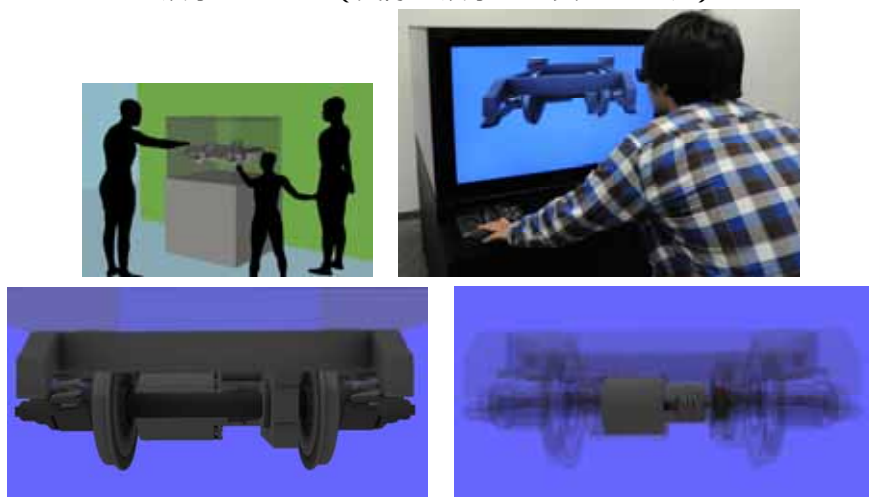
GOは、Graphic Omnidirectional-view（全方位から見えるグラフィック）の略語です。

展示場所：コレクションゾーン 2F スペシャルギャラリー時間旅行展 未来創造コーナー

展示期間：11月9日(水)～11月14日(月)、12月7日(水)～12月19日(月)

展示時間：10時～18時

展示イメージ（実際の展示とは異なります）



様々な角度から電車の台車を観察できます。走らせて、そして透明にして構造や動作を確認できます。

### 時をかけるシート

「現在」にしながら「過去」を体験できる通勤電車のシートです。このシートに座ると、自分の動きが3Dの映像として記録され、リアルタイムの自分と数十秒前の自分が同時に存在する3D空間を様々な角度に回転させて観察することができます。

展示場所：コレクションゾーン 2F スペシャルギャラリー時間旅行展 未来創造コーナー

展示期間：11月16日（水）～11月21日（月）、12月21日（水）～12月26日（月）

展示時間：10時～18時

その他：専用モニタが備え付けられておりますので、座りながら体験できます。

展示イメージ（実際の展示とは異なります）



シート上の自分を撮影し再生すると、モニタ内の3D空間に共存する過去の自分と現在の自分を見られます。その自分たちをお好きな角度に回転して見ることができます。

## ナビログ

専用ガイドアプリが入った携帯端末を使って、ヒストリーゾーンの展示車両を記念撮影すると、展示車両の形式や製造年などの情報が自動的に表示されます。さらに撮影された地点を推定し、観覧ルートガイドマップ上に表示することで観覧体験を振り返ることができます。また、企画展に合わせて通勤電車の発達をテーマにしたガイド形式の解説を体験できます。

展示場所：ヒストリーゾーン1F

展示期間：11月19日(土)～11月25日(金)、12月10日(土)～12月16日(金)

展示時間：12時～17時(時間帯は変更する場合があります)

端末貸出：ヒストリーゾーン1F入口付近にて、運転免許証、パスポートまたは健康保険証をご提示いただき、必要事項をご記入後に携帯端末をお貸出いたします(無料)

ご提供いただきましたお客様の個人情報は、鉄道博物館と東京大学が適切に管理し、当「デジタル レールウェイ ミュージアム」での携帯端末貸出のために使用いたします。それ以外の目的で個人情報を利用したり、第三者へ個人情報を提供・開示をすることは一切ありません。

展示イメージ(実際の展示とは異なります)



携帯端末を操作して、展示車両の解説を見たり、ガイドが体験できます。

## デジタル「思い出ノート」

無人駅などに置かれた思い出ノートをデジタル技術で再現しました。携帯電話などで撮影した写真を思い出とともに博物館に記録することができます。また、博物館外でのお客様の体験を、博物館と結びつけることが可能となり、双方向の情報を提供することができます。

展示場所：エントランスゾーン1F レストラン「日本食堂」

展示期間：12月7日(水)～12月12日(月)

ご提供いただきましたお客様の個人情報は、鉄道博物館と独立行政法人情報通信研究機構が適切に管理し、当「デジタル レールウェイ ミュージアム」でのデジタル「思い出ノート」の展示・研究のために使用いたします。それ以外の目的で個人情報を利用したり、第三者へ個人情報を提供・開示することは一切ありません。

レストラン「日本食堂」では、お飲物またはお食事のオーダーが必要です。



展示イメージ（実際の展示とは異なります）



写真に思い出を添え書きし、それを端末に読み込むと、モニタに思い出が表示されます。

#### Post-Visit HAYABUSA Board

時間旅行展のはやぶさボードに貼り付けられた付箋コメント展示と Post-Visit HAYABUSA Board を連動し、はやぶさボードの様子をウェブ上で公開します。高解像度カメラ撮影により、俯瞰することやズームして読むこと、さらには過去に遡って壁の出来上がっていく様子を、ご自宅のパソコンや、スマートフォンを使って見ることができます。

展示場所：歴史ゾーン 2F レストラン「TD」

インターネット上で公開<http://www.xlab.sfc.keio.ac.jp/hayabusa2011/>

展示期間：11月9日（水）～1月9日（月）

撮影・記録期間：10月8日（土）～1月9日（月）

レストラン「TD」では、お飲物またはお食事のオーダーが必要です。

展示イメージ（実際の展示とは異なります）



インターネット上に再現されたはやぶさボード。カーソルをのせると、付箋紙が拡大されます。